

日御碕の岩石

日御碕の海岸の地質は、縦に連なる断崖が特徴です。この岩石はドームの形をした貫入性の流紋岩でできており、1600 万年前にマグマが冷えて形成されたものです。岩の内部は、溶岩が冷却されて形成された断面が不規則な五角形または六角形になっています。これらの断片は、柱状節理として知られ、柱の向きは溶岩が冷える面に垂直になることがわかっています。これらの節理に沿って岩は簡単に割れやすく、強い波の作用によって幾何学的な形ができあがったのです。